

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		畜犬登録事務事業		担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	3907	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	狂犬病予防法、深谷市狂犬病予防法事務取扱細則等				
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射等の実施に加え、犬のふん害に対する啓発活動を行うための事業である。狂犬病予防集合注射を獣医師会（熊谷保健所管内深谷狂犬病予防協会）と共催で実施することで狂犬病予防効果を高めることができる。								
目的 ※何のために		狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、及びこれを撲滅する。								
対象 ※誰・何を対象に		犬の飼い主及び市民								
手段 ※どのように		市内の29か所で狂犬病予防集合注射を実施、広報等で犬の飼い主へ飼い方のマナー遵守の啓発を図る。								
成果 ※何を求めるか		公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	生活環境衛生費	畜犬登録事務費	4,141,147
本事業の 主な業務		・ 狂犬病予防集合注射							・	
		・ 犬の登録関係事務							・	
		・ 犬のふん害苦情の対応							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画					会計年度任用職員（一般事務）		
事業費	予算（現額）	2,260,000	2,269,000	2,425,000	4,275,000	4,436,000	4,604,000
	決算額	2,102,930	2,177,334	2,374,538	4,201,229	4,141,147	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,102,930	2,177,334	2,374,538	4,436,000	4,604,000
		一般財源	0	0	0	-294,853	0
人件費	従事職員数（人）	0.87	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59
	人件費相当試算※	6,767,730	4,591,380	4,637,990	4,800,240	4,579,530	4,797,495
総事業費試算		8,870,660	6,768,714	7,012,528	9,001,469	8,720,677	9,401,495

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	犬の登録総数	目標値	頭						
		実績値		7770	7550	7461	7248	7201	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		登録頭数の変化は予測できないことから、目標値の設定はできない。 / 当該年度末の犬の登録件数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	飼い主へのマナー啓発媒体数	目標値	回	0	3	3	3	3	3
		実績値		3	3	3	3	3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		飼い主へのマナー啓発（ホームページ・回覧・リーフレットの配布） / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
活動指標 3	飼い主へのマナー啓発看板配布枚数	目標値	枚						
		実績値		25	52	67	74	59	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		看板の配布枚数は、飼い主のモラルにより枚数が変動するため、目標値の設定はできない						
	実績値の算出式								
成果指標 1	狂犬病予防注射接種率	目標値	%	70	70	70	70	70	70
		実績値		80.2	81.1	79.83	74.1	79.74	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		WHOの指針による狂犬病の蔓延を防止できるであろう接種率 / 注射済犬数÷犬の登録総数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	計画通り啓発活動の実施をすることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	狂犬病予防注射接種率は79.74%であり、WHOの指針による狂犬病の蔓延を防止できるであろう接種率70%をクリアしている。
			評価者 係長 木村 明人

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	狂犬病予防集合同注射の受付事務を委託することで職員の事務負担の軽減となっている。
			評価者 係長 木村 明人

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度の狂犬病予防集合注射は中止となり接種率の低下があったが、令和3年度は集合注射を行ったことで接種率が向上したため、引き続き集合注射及び犬の飼い主のマナー控除について啓発活動を継続していく。
達成状況及び その効果	集合注射を実施することができ、接種率の向上につなげることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	畜犬登録事務事業	担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	3907
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から狂犬病予防集合注射の時期を通常の4月から5月に変更し実施することとなったが、WHOが示している接種率をクリアすることができた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 洪澤 滝人				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	狂犬病予防集合注射の継続的な実施と集合注射会場の確保及び会場数の見直しの実施
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	狂犬病予防集合注射の継続的な実施と集合注射会場の確保及び会場数の見直しの実施

8. 評価指標グラフ

